

教科	科目	単位数	学年次	集団
芸術	美術 I	2	1	

使用教科書	副教材等
「高校生の美術 1」（日本文教出版）	なし

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
② 思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・美術文化と主体的に関わり美術の幅広い表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。

評価方法
ア 授業への取り組み等の行動観察 ウ ワークシート等への記述内容 イ 制作作品、アイデアスケッチ エ 提出物の内容 アからエを観点別に見取ったものを総合して評価する。

学習計画							
月	【題目】	領域	項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
					①	②	③
4	ガイダンス						
4	石 𪛗 彫刻	表現	彫刻	・「生命のかたち」をテーマに、主体的に主題を生成できる。 ・形態や量感、質感を意識して創造的な表現の構想を練ることができる。 ・材料や用具の特性を生かして表現を追求できる。	○		
5		鑑賞		・自分の作品について、自分の言葉で考えまとめることができる。 ・表現の意図や工夫、作者の思いを感じ取ることができる。		○	○
6	漫画表現	鑑賞		・日本の美術の歴史や表現の特質について、主体的に感じ取り、深く考えることができる。			
7		表現	絵画	・記号や線の持つ視覚的効果を理解できる。 ・感情や感覚を表現する形について、創造的に構想を練ることができる。	○	○	○
9	人物クロッキー	表現	絵画	・対象をよく観察し、描画材料を生かして描写することができる。	○		○
	美術史	鑑賞		・日本やアジアの現代アートの魅力を探り、美術の働きや社会との関わり方について主体的に考えることができる。		○	○
10	絵巻物	表現	デザイン	・絵巻物ならではの表現に関心を持ち、その表現方法や構図の工夫などを学ぶ。 ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品のイメージや表現方法を練ることができる。	○		
11 12		鑑賞		・自分の作品について、自分の言葉で考えまとめることができる。 ・ユーモアや絵巻物ならではの表現の工夫を感じ取り、作者の表現の意図や主張について考える鑑賞活動に取り組むことができる。		○	○
1 2	油絵具演習	表現	絵画	・主題を効果的に表現するための構想を練ることができる。 ・材料や道具の特性を生かして表現を追求できる。	○		
		鑑賞		・自分の作品について、自分の言葉で考えまとめることができる。 ・表現の意図や工夫、作者の思いを感じ取ることができる。		○	○

教科	科目	単位数	学年次	集団
芸術	書道 I	2	1年	11・12・13・14HR

使用教科書	副教材等
書道 I（東京書籍）	なし

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解している。 ・ 書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け付け、表している。
② 思考・判断・表現	・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

評価方法
ア 授業に取り組む姿勢 イ 作品 ウ ワークシート等の記入内容 エ 提出物の内容 などをもとに総合的に評価する。

学習計画						
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	書道入門	書写から書道へ 用具用材・姿勢と執筆法 漢字の成立と変遷	中学校国語科書写からの接続、書道の学習の仕方を理解する。 用具用材の取り扱い方、姿勢と執筆法を理解する。 五書体の成立と変遷、特徴を理解する。	○ ○		○
5	漢字の書(篆刻)	篆刻と落款 落款を刻す	篆書・篆刻について理解している。 立体表現における表現効果や用具・用材との関わりを理解している。	○	○	○
6 7	漢字の書(楷書)	古典臨書 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「自書告身」 「牛楓造像記」 創作 古典を生かそう 鑑賞	古典の書体や書風に即した用筆・運筆ができる。 古典の美を感じ、楷書の用筆法(直筆・側筆・露鋒・藏鋒)、構成法(背勢・向勢・内筆・方筆)を理解している。 古典の線質、字形や構成を生かした表現をすることができる。	○		○
9 10	漢字の書(行書)	行書の特長 古典臨書 「蘭亭序」「風信帖」 創作 古典を生かそう 鑑賞	行書の特徴、楷書との違いを理解している。 行書の基本的な用筆・運筆ができる。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆ができる。 表現効果(墨の潤渾・文字の大小・線の肥瘦・紙面構成・気脈の貫通)を意識して、作品を制作することができる。	○		○
11 12	仮名の書	仮名の成立 仮名を書く準備 単体・変体仮名・連綿 古筆の臨書 「高野切第三種」 鑑賞	仮名の成立について理解している。 仮名の基本的な用筆・運筆法を身に付けている。 線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 古筆の美しさを感じ取り、仮名の基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 意図に基づいた表現法を構想し、効果的な表現の技能を身に付けている。	○		○
1 2	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の変遷 古典を生かした表現 線による表現の広がり 用具用材による表現 紙面構成 創作 言葉と書を調和させよう 鑑賞	漢字仮名交じりの書の成立について理解している。 用筆・運筆法と表現との関わりを理解し、効果的に表現することができる。 漢字と仮名の調和した字形、大きさ、線質、全体の構成について構想し工夫している。 効果的な全体の構成を構想し工夫することができる。 漢字仮名交じりの書の名筆のよさや美しさを感じ取り、作品の価値や生活における効用について考え、味わって捉えることができる。 自らの意図に基づいて、字形、用筆、全体の構成を工夫した作品を創作することができる。	○	○	○
			書を構成する要素や表現効果、風趣を感じ取り、言葉で表現することができる。	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	音楽 I	2	1年	11～13HR

使用教科書	副教材等
教育芸術社	なし

1 科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 評価の観点とその趣旨

①	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3 評価方法

ア 取組みの観察 ワークシート等への記述内容	イ 演奏、作品の内容 エ 提出物の内容	アからエを観点別に見取ったものを総合して評価する。
---------------------------	------------------------	---------------------------

4 学習計画

時期		題材名	領域	項目	題材の学習目標	教材	評価の観点 (特に重視するものに○)		
							①	②	③
一学期	4	旋律を美しく歌おう	表現	歌唱	①曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能を身に付けている。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって歌唱表現を創意工夫している。 ③主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	「三島南高校校歌」他	○	○	○
	5 6	ハンドクラッピングの特徴を生かした表現を考えよう	表現	器楽	①曲想と音色や奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現のために必要な、体の使い方を理解している。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。 クラッピングの表現に関わる知識や知識を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って上限を創意工夫している。 ③主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	「クラッピングカルデット」	○	○	○
	7	感情を音楽で表現する方法を比較しながら音楽の良さや美しさを味わおう	鑑賞		①曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ③主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		○	○	
二学期	9	器楽表現に必要な奏法技能を身に付けよう	表現	器楽	①曲想と音色や奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現のために必要な、体の使い方を理解している。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。 ヴァイオリンの表現に関わる知識や知識を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って上限を創意工夫している。 ③主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	「カノン」	○	○	
	10	器楽表現に必要な奏法技能を身に付けよう	表現	器楽	①曲想と音色や奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現のために必要な、体の使い方を理解している。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。 ギターの表現に関わる知識や知識を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って上限を創意工夫している。 ③主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	「Happy Birthday」 「スカボロー フェア」 「マリー ゴールド」	○	○	○
	11	声の特徴を生かした表現を考えよう	表現	歌唱・創作	①曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能を身に付けている。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって歌唱・創作表現を創意工夫している。 ③主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	「あさりどゆんた」	○	○	○
		ボディパーカッションの特徴を生かした表現を考えよう	表現	器楽	①曲想と音色や奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現のために必要な、体の使い方を理解している。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。 クラッピングの表現に関わる知識や知識を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って上限を創意工夫している。 ③主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	「Plymouth Rock」	○	○	○
	12	音楽史/楽典	鑑賞		①曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ③主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		○	○	
三学期	1	旋律を美しく歌おう	表現	歌唱	①曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能を身に付けている。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって歌唱表現を創意工夫している。 ③主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	「島人ぬ宝」 「冬景色」 「おぼろ月夜」	○	○	○
	2	器楽表現に必要な奏法技能を身に付けよう	表現	器楽	①曲想と音色や奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現のために必要な、体の使い方を理解している。 ②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。 箏の表現に関わる知識や知識を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って上限を創意工夫している。 ③主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	「さくら さくら」	○	○	